

情報活用能力段階表

佐世保市立宮小学校

	低学年	中学年	高学年
A 情報活用の実践力	・学習活動に必要とされるコンピュータやアプリケーションソフトの基本的な操作ができる ・伝える相手を意識して、自分の考えや気持ちを文書や手紙で伝えることができる	・電子ファイルを整理して適切な場所に保存できる ・情報機器で収集した情報を報告や発表に利用できる ・インターネットの閲覧や電子メールの送受信ができる ・メディアを介して自分の考えや気持ちを文書や手紙で伝えることができる ・調べたことを相手にわかりやすくプレゼンテーション(発表)したりできる	・10分間に200文字程度の文字が入力できる ・複数のキーワードを組み合わせ、大量の電子情報の中から必要な情報を検索できる ・集めたデータを表やグラフに整理・処理し、考察できる ・文字、写真、表、グラフ等を組み合わせ、新聞やカードを作成し、調べたことや自分の意見を表現できる ・課題や目的に応じて、小学校で学んだ情報手段を適切に活用して発表内容の評価や改善できる
B 情報の科学的理解	・自分の活動や学習の成果をデジタル情報に記録し、評価できる	・電子メールやWebページ、掲示板を利用して、情報の収集、発信、交流する方法と、その特性を知る	・情報の信憑性を確かめる方法を知り、課題解決に利用できる ・収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたりして情報の整理を行う方法を知る
C 情報に参画する態度	・自分の身の回りにも情報通信技術が活用されていることを知り、生活に役立っていることを理解できる ・相手を思いやるコミュニケーションができる ・健康に配慮して情報機器を使うことができる	・情報を伝える産業としてマスメディアの使命や役割を理解できる ・ネットワークや情報機器を使う際のルールやマナーを守ることができる ・インターネットには不適切な情報や有害な情報があることを知り、安全で正しい対処ができる ・個人情報やID・パスワードの大切さに気づき、守ることができる	・情報が社会に与える影響力や情報技術が社会の中で果たしている役割を理解できる ・責任ある情報発信ができる ・協力し合ってネットワークを使うことができる ・情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性について考えることができる